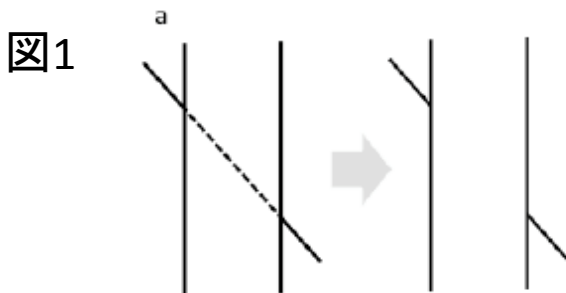


# 小脳障害におけるCerebellar Cognitive Affective Syndrome

研究分担者: 田中 章景(横浜市立大学)

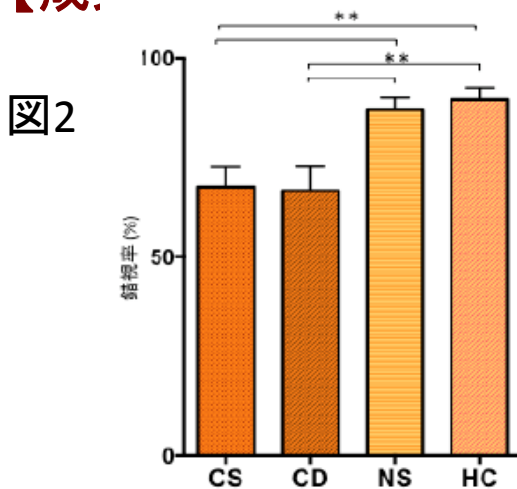
## 【目的】

小脳損傷がPoggendorff図形(図1)の錯視知覚に与える影響について明らかにする



Poggendorff錯視図形. 斜めの直線を隠すと, 線はつながっていないように見える(錯視あり)

## 【成果】



小脳障害群では非障害群に比べて有意に錯視率が低い(図2)

CS: cerebellar stroke, n=24

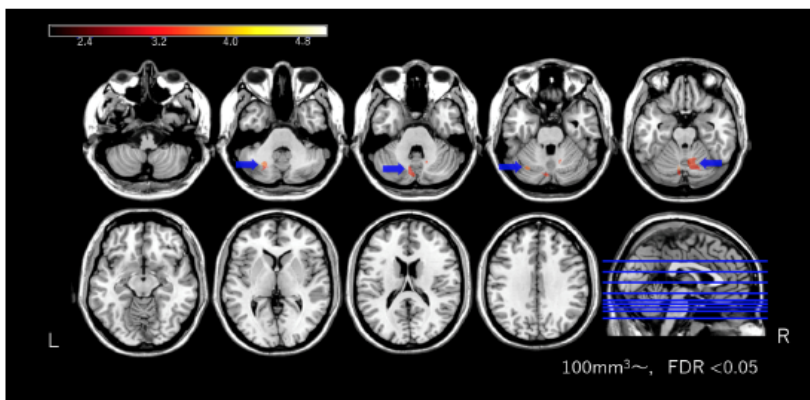
CD: cerebellar degeneration, n=20

NS: non-cerebellar stroke, n=31

HC: healthy control, n=18

\*\* $p < 0.01$

## 図3



錯視率変化と小脳後内側病変が関連している(図3)

3000回の permutation test と false discovery rate による多重比較補正を行い, 有意水準は  $p < 0.05$  とした.  $100\text{mm}^3$  以上の病巣クラスターを図示した. (矢印)